

臨床研究へのご協力をお願い

【臨床研究名】

超音波検査でびまん性甲状腺腫の容積を推定する簡便な方法の検討

【研究の意義および目的】

腫大した甲状腺(びまん性甲状腺腫)の大きさを計測する方法には、触診・視診による方法、超音波検査で大きさを測定する方法などがあります。前者では正確な計測ができず、後者がより正確で客観的に測定できますが、一般的に用いられている超音波検査での測定方法は甲状腺の右葉、左葉、峡部の厚さ、幅、長さをそれぞれ測定して計算する方法で手間がかかります。そのためもあり広く普及しておらず、多くの病院で共通して使われている測定方法はありません。

そこで、専門でない病院や検診センターなどでも使いやすいと思われる簡便で客観的な超音波検査による測定方法を検討します。

【対象になる方および利用の方法】

2016年4月～12月、2020年3月～2021年3月の期間に当院にてバセドウ病の診断で手術を受けた方と、2020年1月～2022年12月の期間に当院を受診して検査の結果甲状腺に異常がないと診断された方の検査結果を使わせていただきます。

カルテの記録から、バセドウ病で手術を受けた方の手術時の甲状腺重量と、術前の超音波検査で得られた甲状腺の計測値の関係を調べます。また、基準値を設定するために甲状腺に異常がないと診断された方の超音波検査で得られた甲状腺の計測値を調べます。

【研究協力について】

この研究に同意されない方は以下の書式で同意しないことをお知らせください。同意されなくても今後の診療に不利益を来すことはありません。同意いただける場合にはカルテから得られるデータを研究に使用させていただきます。研究の結果は論文として報告する予定ですが、プライバシーに充分配慮して個人が特定出来ないように報告します。

【研究責任者】

医療法人野口記念会野口病院 院長 村上 司

【問い合わせ先】

医療法人野口記念会野口病院 外来予診室